

2025 年 10 月 24 日

報道関係各位

美大で観光を学びませんか？ 観光×アート×デザイン講座、今年も開講！

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：樺山祐和 以下、本学）が開発している「価値創造人材育成プログラム（Value Creation Program）」（以下、VCP）を、観光経営事業者を対象として開発・展開したプログラム「VCP for TOKYO Tourism」を 2025 年度も開講します。

東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」



美大で観光を学びませんか？
全 7 講座^{※1} 無料！^{※2}
2025 年 12 月 9 日～3 月 1 日
※1 内 2 日は任意 ※2 フィールドワークに係る費用は参加者負担

MMU
武蔵野美術大学

2024 年度から開講した本講座は、美大の「創造性教育」を活用し、国内の文化資源の価値を再発見し、観光産業のブランド力とイノベーション力を高めることを目指した教育プログラムおよび実装プログラムです。2 年目となる 2025 年度は、地域と人の関係を「再生」する、観光サービスデザイン講座として、「再生」をテーマに、観光サービスデザインについて座学およびワークショップで実践的に学びます。

■ 日常の生活を離れて体験する延長プログラム！伊豆大島での実践フィールドワークを追加

今回は**全 5 回のプログラム受講者を対象に**、講座の学びを実践するフィールドワーク（任意参加）を用意しました。東京都の伊豆大島にて 1 泊 2 日の日程で実施予定です。

独特な景観と都市では得られない感覚が日常に息づく伊豆大島で過ごす時間は、発想を解きほぐし、新しい視点を生むきっかけになります。それらは観光やサービスづくりにも、深く響く“源泉”となるはずです。



■開催概要

VCP for TOKYO Tourism

～地域と人の関係を「再生」する、観光サービスデザイン講座～

開催日程：2025年12月9日（火）～2026年2月2日（月）

*上記期間内で全5講座（1講座150分程度）

フィールドワーク（任意）@伊豆大島 2026年2月28日（土）・3月1日（日）

会場：武蔵野美術大学 市ヶ谷キャンパス7階 コワーキングスペース「Ma」
伊豆大島（東京都大島町）

参加費：無料

*DAY4の移動経費と食費、および伊豆大島でのフィールドワークに係る渡航、宿泊、食事は参加者負担

対象者：1. 観光関連事業等に従事（予定含む）する東京都内に在住または在勤の方
2. 文化資源、観光やまちづくりに興味のある方

定員：25名程度

募集期間：2025年10月24日（金）～2025年11月17日（月）

■オンライン説明会

講座の内容についてのオンライン説明会を開催します。ぜひお気軽に参加ください。

1回目：2025年10月28日（火）18:00～18:30

2回目：2025年11月7日（金）18:00～18:30

講座申込およびオンライン説明会の申込はこちらから

<https://vcp.musabi.ac.jp/tourism/>

■プログラム詳細

DAY1 12月9日（火）18:00-20:30

◎プログラムオリエンテーション

VUCA 時代における観光業の課題に応えるべく、顧客価値を重視する「エクスペリエンスデザイン」や、顧客と提供者やその他の利害関係者の体験を俯瞰し包括的に捉える「サービスデザイン」を活かして、顧客の記憶に残る体験の創出を目指すイノベーション開発のアプローチを概説します。

講師：武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 教授 丸山幸伸

◎都市における体験を考察するためのアート

観光とアートは深い結びつきを持っています。どちらも日常とは異なる視点を体験し、文化、自然、地域に新しい価値観と理解を提供する活動です。情報化社会の進展により「美」や「体験」は多様化しています。本講座では、観光とアートの関係を掘り下げ、新しい観光のかたちを考えます。

講師：武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 准教授 石川卓磨

DAY2 12月16日（火）18:00-20:30

◎1階から始める、まちとひとの暮らしを「再生」するデザイン

近年、都市生活者の関係の希薄化が指摘されており、それに対して建築を通して、人が幸せになれるような社会づくりが模索されています。本講座では「1階づくりはまちづくり」をモットーに、日本初の私設公民館「喫茶ランドリー」や全国で1階づくりに取り組む株式会社グランドレベルの事例とその背景にある考え方を紹介します。

講師：株式会社グランドレベル 代表取締役社長 田中元子氏

DAY3 1月13日（火）18:00-20:30

◎老舗酒造の世界観を100年先に継ぐ、ブランド体験のデザイン

日本の伝統文化や食が世界的に見直される一方で、事業の面では衰退産業といわれ廃業の危機に瀕している分野も少なくありません。本講座では湘南地域で唯一の老舗酒造六代目として取り組んだ、酒ブランドの再生の物語と、地域の暮らしの中に自然と文化、そして共創型のビジネスが融合した次世代コミュニティのあり方について紹介します。

講師：熊澤酒造株式会社 代表取締役 熊澤茂吉氏

DAY4 1月24日（土）13:00-17:00

◎ワークショップ

これまでの座学によって得られた視点をもとに、都内のフィールドにて写真撮影や素描などのワークを経て気づきをまとめるまち歩き調査と、その視点をもとにしたサービスアイデアの機会について考えるワークショップを行います。

DAY5 2月2日（月）18:00-20:30

◎講評

ワークショップの成果発表と、一連の学びを終えたフィードバックを相互に行い学びを定着させます。

DAY6・7 2月28日(土)・3月1日(日)

◎ フィールドワーク@伊豆大島



昨年の様子

■「価値創造人材育成プログラム」(Value Creation Program : VCP) について

デザイン思考やアート思考といった特定の思考法にとらわれず、本学が90年以上続けてきた造形教育で得た知見を最大限活用し、「創造的思考力」を涵養するとともに、多様な視点を調和・統合させることを通じて、新たな関係性を見いだすプログラムです。

■東京都「大学等と連携した観光経営人材育成事業」について

東京都では、観光関連事業者の経営力向上を図り、観光産業の活性化につなげることを目的として、大学等と連携して観光関連事業に従事する者等に向けた新たな教育プログラムの開発等の支援事業を実施しています。武蔵野美術大学は2024年度より連携大学に選定されています。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学 観光経営人材育成事業 担当：西

ichigaya_campus@musabi.ac.jp